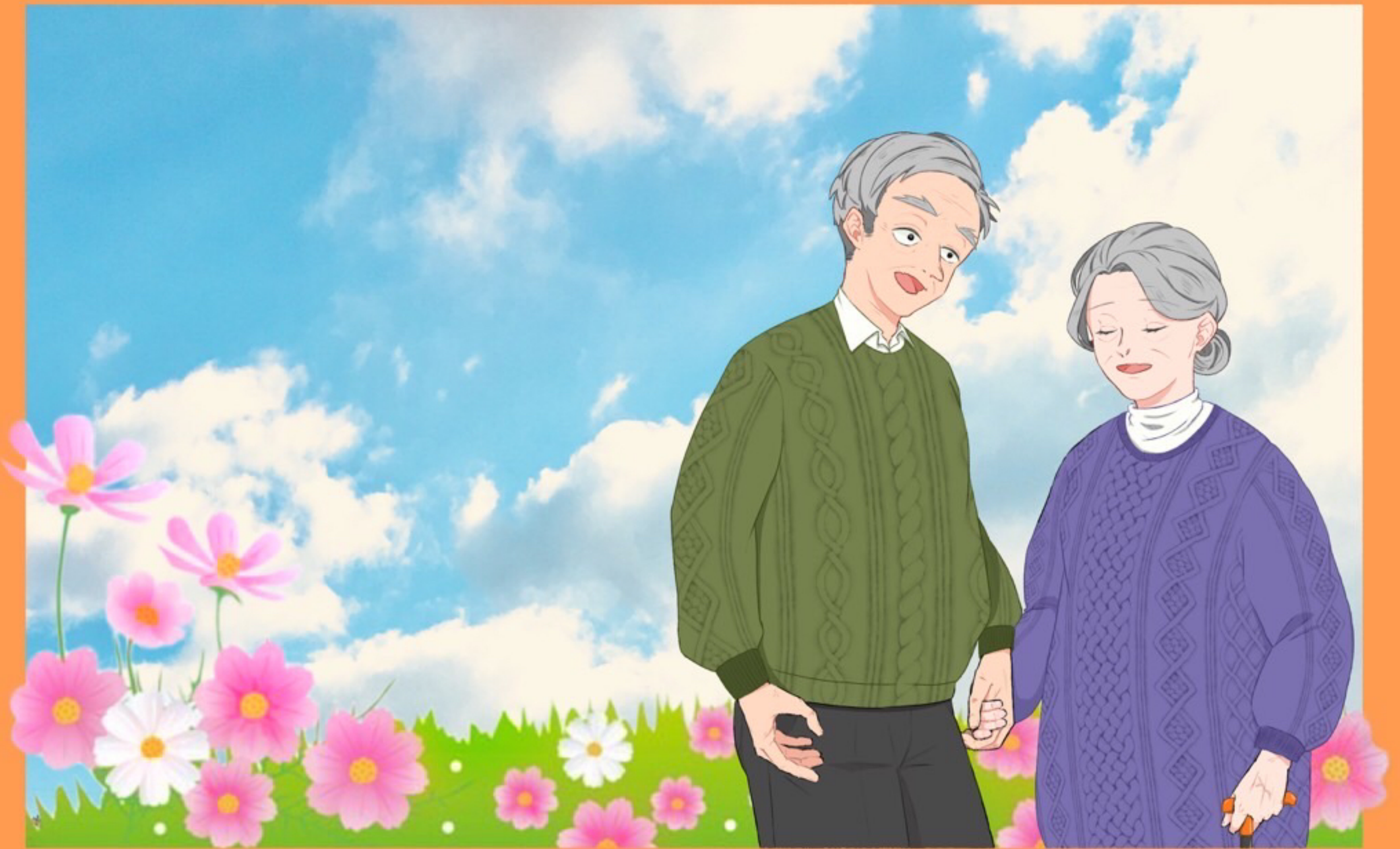


飯塚市認知症ケアパス あんしんパス いいづか



～ 認知症ケアパスが伝えたい3つのこと～

認知症になっても、
社会と繋がった生活が
続けられること



早めに病院に行き、
相談することが
大事なこと



地域の相談窓口が
たくさんあること



認知症は
誰にでも起こる可能性のある
身近な病気です。



厚生労働省の推計では、2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると言われています。認知症は、誰にでも起こり得る、また関わることになるかもしれない身近な病気です。

「あんしんパスいづか」は、認知症の人やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、認知症の進行や状態にあわせて、どのような医療・介護サービスが受けられるのかをわかりやすく示したものです。

また家族や大切な人が認知症になった時に、どのように支えていくことができるのか、認知症について知り、考えるきっかけとして、本冊子をご活用ください。

目次

1	認知症について	1ページ
2	認知症ケアパス	2ページ
3	相談窓口	4ページ
4	認知症チェックリスト	5ページ
5	認知症に関する施策	6ページ
6	地域とのつながり	8ページ
7	若年性認知症について	9ページ
8	認知症の人との接し方	10ページ
9	認知症の予防につながる生活習慣	11ページ
◆	地域包括支援センター一覧	12ページ

1. 認知症について

● 認知症ってどんな病気？

認知症とは、さまざまな原因で、脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで、認知機能が低下し、社会生活や対人関係に支障が出ている状態をいいます。早期発見できれば、治療可能な認知症もあります。

● 認知症の種類について

大きくはアルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症など70種類を超えるとされています。原因となる病気によって症状は異なります。代表的な認知症には以下の4つのタイプがあります。

一番多い認知症

アルツハイマー型認知症

- もの忘れ
- 物事の段取りが悪くなる
- 日時や場所がわからない
- 物盗られ妄想
- 重度になるまで運動機能は保たれる

脳梗塞、脳出血などが原因

脳血管性認知症

- 意欲低下
- 感情のコントロールがうまくいかない
- 一部の機能が低下して、他の機能は保たれている（まだら認知症）
- 手足の麻痺がある

レビー小体型認知症

- 幻視・妄想
- 日によって、物忘れの症状に変動がある
- パーキンソン症状がみられ、動作が遅い(手足の震え、小刻み歩行など)

幻視が起こる

前頭側頭型認知症（ピック病）

- 性格の変化
- 社会のルールが守れなくなる（万引きや無銭飲食など）
- 同じ行動を繰り返す
- 初期のもの忘れは目立たず、比較的若い年齢で発症する

自分本位な行動が目立つ

● 認知症に関する情報を知りたいとき

認知症介護情報ネットワーク（DCネット）HP：<https://www.dcnnet.gr.jp/>

※認知症介護研究・研修センターが運営しています。







2.認知症ケアパス

～認知症の進行や状態に応じて利用できる支援～

	自立	認知症の疑い
本人の様子	●日常生活も完全に自立している	●もの忘れはあるが、自覚がある ●日常生活は自立しているが、漢字の間違いや計算ミスが増える
相談支援	認知症介護情報ネットワーク⇒P 1 地域包括支援センター⇒P4、P12-13	
	かかりつけ医・薬剤師 福岡県認知症医療センター⇒P4	
他者とのつながり支援	いきいきサロン 介護予防教室⇒P 1 1 自治会の活動	
	認知症の人と家族の会いづか⇒P8 オレンジカフェ⇒P8	
見守り支援	認知症サポーター養成講座⇒P6 認知症高齢者等位置検索システム事業⇒P6 認知症高齢	
医療・介護・行政などの支援	市役所高齢介護課 地域包括支援センター⇒P4、P12-13 居宅介護支	
	かかりつけ医・歯科医・薬剤師 福岡県認知症医療センター⇒P4	
	免許証自主返納支援⇒P6	
	成年後見制度（任意後見制度）⇒P9	
住まい・施設	自宅 軽費老人ホーム サービス付高齢者向け住宅	

認知症ケアパスを見ると、認知症の進行や状態にあわせて、どのような医療・介護サービス等が受けられるのかがわかります。



見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に 手助け・介護が必要	常に介護が必要
<ul style="list-style-type: none"> ●同じことを何度も聞くようになる ●季節にあった服が着られない ●料理、買い物、金銭管理が難しくなってくる ●道に迷うことが増える ●服薬管理ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレの失敗が増える ●着替えが上手くできない ●「ものを盗られた」と訴える ●読み書きが苦手になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●家族の名前や顔がわからなくなる ●言葉によるコミュニケーションが難しくなる ●車イスや、ベット上の生活が長くなる
居宅介護支援事業所		
認知症対応医療機関（もの忘れ外来・認知症サポート医）⇒P4		認知症110番⇒P4
老人クラブ		
者等徘徊SOSネットワーク事業⇒P7		認知症高齢者等個人賠償責任保険事業⇒P7 
愛事業所 福岡県認知症介護相談窓口⇒P10 認知症の人と家族の会福岡県支部⇒P10		
認知症対応医療機関（もの忘れ外来・認知症サポート医）⇒P4		
		成年後見制度（法定後見制度）⇒P9 
訪問診療 訪問歯科 訪問薬剤管理指導 訪問看護		
有料老人ホーム など		
グループホーム ⇒P5 特別養護老人ホームなど		

3.相談窓口



【気づきの頃に利用できる窓口】

●地域包括支援センター（担当区域は12-13ページでご確認いただけます）

地域にある高齢者の総合相談窓口です。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職があり、認知症・介護保険・医療・暮らしの困りごとのご相談に応じています。地域包括支援センターは担当区域が決まっています。

【認知症に関して相談できる医療機関】

認知症の診断は初期ほど難しいので、認知症の専門医を受診しましょう。

「いきなり専門的な医療機関は受診しにくい」という時は、いつも受診している「かかりつけ医」に相談し、必要に応じて、以下の専門医療機関を紹介してもらえます。

※いずれの医療機関も祝日、年末年始等の休日は休診しております。

診察には予約が必要です。詳細な受付時間や診療時間は各医療機関にお問い合わせください。

●福岡県認知症医療センター

窓口	所在地	連絡先	受診に関して
飯塚記念病院	鶴三緒 1452-2	22-2565	月～金（新患は午前のみ） ✓サポート医 ✓もの忘れ外来

※上記番号に繋がらない場合は、22-2316（代表番号）へお願いします。

●認知症対応医療機関

窓口	所在地	連絡先	受診に関して
飯塚病院 （患者さん相談室）	芳雄町 3-83	22-3800	月～金 ✓もの忘れ外来
柴田みえこ内科・ 神経内科クリニック	鶴三緒 1547-10	21-0011	月～土（水・金・土は午前のみ） ✓サポート医 ✓もの忘れ外来
たていわ病院	立岩 1725	22-2611	月～土（土は午前のみ） ✓サポート医
丸野クリニック	立岩 1308-12	25-0188	月～土（木・土は午前のみ） ✓サポート医
心のクリニック・飯塚	菰田西 2-5-34	24-1515	月～木 ✓サポート医

✓もの忘れ外来・・・もの忘れ外来が設置されている医療機関です。

✓サポート医・・・認知症サポート医が在籍する医療機関です。

認知症サポート医とは、かかりつけ医の認知症診断等に関する相談・アドバイザー役となり、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携を推進します。

●認知症に関して電話で相談したいとき

相談先：認知症 110 番（公益財団法人認知症予防財団） ☎ 0120（65）4874（無料）
月曜日・木曜日 10：00～15：00（月曜日が休日の場合は原則、翌火曜日）

4 認知症チェックリスト



● 「認知症」早期発見のめやす

日常生活において、下記のような症状・行動にチェックが付いたら、気を付けてみていきましょう。気になり始めたら認知症の専門医（P4）やかかりつけ医に相談しましょう。

もの忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに
電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ、置き忘れが増え
いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと
人を疑う

判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などの
ミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と
周囲から言われた

不安感が強い

- ひとりになると怖がったり
寂しがったりする
- 外出時持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 下着を着替えずに身だしなみを
構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に
興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

※チェックリストは、認知症の人と家族の会いづかのリーフレットから引用しています。

認知症高齢者グループホームについて

認知症高齢者グループホームとは、5～9人の少人数で、認知症の高齢者（要支援2以上）が家庭的な雰囲気の中で共同生活をし、日常生活上のお世話や機能訓練等の介護サービスが受けられる施設です。飯塚市のホームページには、グループホームを掲載（「飯塚市 認知症 グループホーム」で検索）しています。インターネット環境がない場合は、飯塚市役所高齢介護課の窓口で一覧をお渡ししています。



飯塚市役所ホームページ：<https://www.city.iizuka.lg.jp>

相談先：地域包括支援センター（12-13ページ）

飯塚市役所 高齢介護課 高齢者支援係 ☎ 0948 (22) 5500

5.認知症に関する施策

●認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。



相談先：飯塚市社会福祉協議会 ☎ 0948 (23) 2210

●免許証自主返納支援

65歳以上の高齢者が運転免許証を自主返納した場合に、特典支援【① コミュニティ交通回数券（7,000円分）、② タクシー乗車券（5,000円分）、③ ICカード nimoca 乗車券（5,000円分）の中から、一つを選択】をしています。申請には、筑豊自動車運転免許試験場または飯塚警察署で返納時に発行される「取消通知書」、「運転免許証（自主返納された旨のある穴のあいた免許証）」「印かん（認め印で可）」等が必要です。※穴のあいた免許証は返納した際に申出ると貰えます。



相談先：飯塚市役所 高齢介護課 総務係 ☎ 0948 (22) 5500

安全運転相談窓口に相談しよう！

高齢や認知症を始めとする病気などにより、運転について不安をお持ちの方、又はご家族の方の相談先として、安全運転相談窓口が設けられています。



相談先：筑豊自動車運転免許試験場 安全運転相談窓口 ☎ 0948 (26) 7110

（場所：飯塚市鶴三緒 1518-1）

月曜日～金曜日 8:30～17:15 ※相談は要予約。

●認知症高齢者等位置検索システム事業

徘徊行動の見られる認知症高齢者等を介護する親族が、徘徊高齢者等を早期に発見するために、位置情報専用探索機を購入またはレンタル契約する場合に、費用の一部（助成額は所得によって異なります）を助成するものです。



相談先：飯塚市役所 高齢介護課 高齢者支援係 ☎ 0948 (22) 5500

●認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク事業

認知症による徘徊のおそれのある高齢者等の特徴や顔写真等を予め登録することで、徘徊による捜索願が出た際、協力団体に対しメール等により情報提供を呼びかけます。



事前登録先：飯塚市役所 高齢介護課 高齢者支援係 ☎ 0948 (22) 5500

●認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

認知症の人が他人に怪我を負わせたり、他人の物を壊すなどして、法律上の損害賠償責任を負う場合に備えて、認知症の人を被保険者とし、これを補償する保険に飯塚市が契約者として加入することで、認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

＜対象となる方＞ 次の①～③全てに該当する方

- ① 「認知症高齢者等徘徊 SOS ネットワーク事業」に登録（登録を予定）されている40歳以上の方
- ② 市内に居住し、在宅で生活している方
- ③ 要介護認定もしくは、医師の診断書において、認知症高齢者の「日常生活自立度」がⅡa以上の方。

＜補 償 内 容＞ 1事故あたり最大で3億円まで支払われます。

＜保 険 料＞ 市が負担しますので、自己負担はありません。

相談先：飯塚市役所 高齢介護課 高齢者支援係 ☎ 0948 (22) 5500

教えて！ 高齢者の消費者被害について

高齢者は「お金」「健康」「孤独」の3つの大きな不安を持っているといわれています。悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切にして信用させ、年金や貯蓄などの大切な財産を狙っています。判断力の低下した高齢者は被害に気づきにくいいため、小さな変化を見逃さず、相談機関に繋げましょう。

～地域での「見守り力」向上のために～

- ①見守り・気づき
- ②声かけ・確認
- ③相談は「飯塚市消費生活センター」



相談先：飯塚市消費生活センター ☎ 0948 (22) 0857
(場所：飯塚市吉原町6-1 あいタウン2階 市民交流プラザ内)

6.地域とのつながり

●認知症の人と家族の会いづか

認知症の人やその家族を支える活動を行う飯塚市のボランティア団体です。認知症の人と家族、そして専門職が集まり、自由に話をしながら、情報交換、介護の相談、勉強会を行っています。毎月第3土曜日 13:30~15:00、穂波ふれあい会館にて定例会を開催しています。

相談先：認知症の人と家族の会いづか 事務局 ☎080 (9246) 0512

●オレンジカフェ

認知症の方とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場所です。

認知症について悩みを持たれる方が気軽に立ち寄り、地域の人たちにも理解される場所となるよう、さまざまな手法を凝らしたカフェを実施しています。

飯塚市では、オレンジカフェ開設に取り組む団体を支援するため、助成事業も行っています。



※以下の情報は、令和5年4月時点のものであり、変更となる可能性があります。
最新の情報は、各カフェに直接お問い合わせください。

【令和5年4月時点】

番号	カフェの名称 (実施団体)	開催日時・曜日等	カフェ金額	主な内容 (開催日によって異なります)
		住所	電話番号	
①	ひよりカフェ (GH・小規模多機能ひより)	第3木曜日 11:00~14:00	100円/加~200円	カフェ、クッキー作り、相談、 脳の健康度チェック(要予約・100円)
		上三緒1-11	21-7500	
②	げんきカフェ (グループホーム和【のどか】)	第3木曜日 開催日によって時間が異なります	100円~300円	カフェ、料理教室、体操、相談
		潤野967-13	21-1801	
③	ケアカフェ菰田 (ふあみりー菰田)	毎月・第4木曜日 13:30~15:30	100円	カフェ、相談、レクリエーション
		菰田西3丁目9-10	22-5330	
④	のんびり (E77-7・のんびり工房)	第3水曜日 10:30~13:00	100円	カフェ、相談、脳トレ、学習 小物作り
		若菜259-10	82-2592	
⑤	どんぐりカフェ (社会福祉法人 櫛会)	奇数月・第2月曜日他 13:30~15:00	100円	カフェ、講話、体操、相談
		相田114-1	24-8000	
⑥	かいた健康カフェぶらっと (介護老人保健施設 和泉の澤)	隔月第3金曜日 13:00~15:00	100円	カフェ、講話、体操、相談
		勢田1793	0948-92-0700	
⑦	ワイワイがやがや仲良しカフェ (社会福祉法人 芳寿会)	第3火曜日 13:30~15:30	100円	カフェ、体操、作品制作、相談
		菰田東2丁目2-17ふれあいいす芳美II	29-4040	
⑧	コミュニティークラブポポロ (一般社団法人ライフクリエイト)	奇数月・第2日曜日 13:00~15:00	100円	カフェ、相談、脳トレ、ギター演奏
		花瀬31-6	080-3947-3136	
⑨	ゆみ'Sカフェ (株式会社ゆみ)	第2日曜日 10:00~14:00	1品100円~	カフェ、相談、体操
		上三緒599-1	43-8989	
⑩	まちの保健室あいおす (看護小規模多機能施設あいおす)	毎週水曜日 14:00~16:00	100円	カフェ、相談、介護予防教室 脳の健康度チェック(要予約・100円)
		枝国56-1	22-6133	
⑪	はるくカフェ (合同会社 晴空)	奇数月・第3木曜日 11:00~13:30	300円	カフェ、相談、料理教室、手工芸
		有安962-230	090-8356-0869	

相談先：飯塚市役所 高齢介護課 高齢者支援係 ☎0948 (22) 5500

7.若年性認知症について

認知症は65歳未満で発症することがあります！

65歳未満で発症した場合を「若年性認知症」といいます。

まだ若いということで、うつ病や更年期障がいなど他の病気として治療されることもあり、認知症の診断までに時間がかかってしまうことがあります。働き盛りの世代で発症するため、本人の就労及び本人や家族の生活支援が重要になります。



若年性認知症サポートセンターに相談しよう！

若年性認知症支援コーディネーターが相談に応じます。

若年性認知症サポートセンターでは、若年性認知症の方や家族からの相談を受け、医療・福祉・就労などに関する支援施設を紹介したり、働き続けるために利用できる制度やサービスの情報提供の支援を行っています。

所定の要件を満たせば、自立支援医療、精神障がい者福祉手帳の交付、障がい年金など、利用できる制度があるかもしれません。仕事を辞めようと悩んでいる場合は、初診日に厚生年金加入中であるかどうかで、障がい年金の額が変わる場合がありますので、仕事を辞める前に相談しましょう。

相談先：福岡県若年性認知症サポートセンター ☎ 0930 (26) 2370
✉ jakunenfukuoka@gmail.com
(所在地：福岡県行橋市大字金屋649-1 高齢者自立支援センター内)
月曜日～金曜日 10:00～16:00 ※面談は要予約。

教えて！ 成年後見制度について

成年後見制度には、「任意後見制度」と「法定後見制度」があります。

「任意後見制度」は、判断能力があるうちに、将来、認知症等で判断能力が不十分になった場合に備えて、予め自分で選んだ代理人に、生活や財産管理等について代理権を与える契約を結んでおく制度です。

「法定後見制度」は、すでに認知症などで判断能力が不十分な場合について、家庭裁判所への申し立てにより成年後見人（保佐人・補助人）が選ばれ、本人に代わって契約行為、財産管理、身上保護等を行う制度です。

相談先：飯塚市役所 ☎ 0948 (22) 5500
65歳以上の方：高齢介護課 高齢者支援係（内線1143）
65歳未満の方：社会・障がい者福祉課 障がい者福祉係（内線1151・1152）

8.認知症の人との接し方

●認知症ケアの技法『ユマニチュード®』の考え方

ユマニチュードはフランス人のイヴ・ジネスト氏らが考案した認知症ケアの技法です。

「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つを基本要素として、400を超える技術があります。

ユマニチュードの根幹にあるのは「相手を個人として尊重し、大切に思う気持ちを相手に届くかたちで伝える」という考え方です。それにより信頼関係を構築して、その人の持つ力を最大限に引き出すことを目的としています。

4つの柱：あなたのことを大切に思っていることを伝える技術

「見る」

正面から徐々に近づき、しっかりと目線を合わせます。

「話す」

低めのトーンで抑揚をつけ、前向きな言葉を選んで話しかけます。

「触れる」

上からつかまず、下から支えるように触れます。

「立つ」

1日20分以上は立つ機会を設けることで寝たきりを防ぎます。



※ユマニチュードの研修や資料映像など、詳しい情報はこちらのホームページからご覧いただけます。一般社団法人日本ユマニチュード学会 <https://jhuma.org/>

認知症介護相談窓口に相談しよう！

認知症の人や、その家族の方が抱える不安や悩みについて、認知症の人の介護経験のある人が、電話や面談により相談をお受けします。

相談先：福岡県認知症介護相談窓口 ☎092 (574) 0190

(所在地：福岡県春日市原町3丁目1番7号 クローバープラザ相談室)

水曜日・土曜日 11:00~16:00 ※面談は要予約。

認知症の人と家族の会福岡県支部 ☎092 (771) 8595

(所在地：福岡市中央区荒戸3丁目3番39号 福岡市市民福祉プラザ4階団体連絡室)

火曜日・金曜日 10:30~15:30 (第3火曜日・祝日休み) ※面談は要予約。

9.認知症の予防につながる生活習慣

『糖尿病』『高血圧』などの生活習慣病は、認知症の発症リスクを高めることが知られています。認知症の発症を予防するために、生活習慣の見直しや、脳に刺激をあたえる活動的な生活を心がけましょう。

食事



栄養バランスの良い食事を心がけましょう。

口腔ケアも忘れずに！

虫歯・歯周病は、生活習慣病の悪化要因と言われ、口腔ケアを心がけることは認知症予防につながります。

運動



ウォーキングや体操などの有酸素運動を継続的に行いましょう。

飯塚市では、介護予防教室を開催しています。詳しくは下記の「教えて！介護予防教室について」をご覧ください。

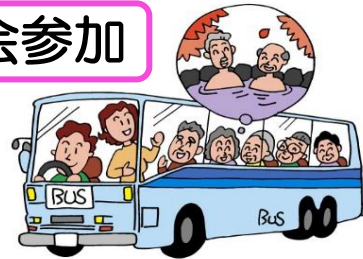
知的活動



将棋・囲碁などのゲーム、創作、読書、音楽鑑賞など知的活動は、脳を活性化させます。趣味を楽しみながら、生活に脳トレになる活動を取り入れましょう。

※上記の作成にあたり、飯塚記念病院の認知症予防専門士にご協力いただいております。

社会参加



家庭や社会の中で役割を持つことや、他者とコミュニケーションをとることは認知症予防において重要です。ボランティア、自治会、趣味のサークルなど、地域の活動に積極的に参加しましょう。

教えて！ 介護予防教室について

65歳以上で、飯塚市に住民登録がある方が対象です。

介護予防とは、特別なことをするのではなく、ちょっとした工夫を行うことで自分でできることの範囲を広げ、「老化」のスピードを遅くすることで介護が必要な状態にならないようにすることをいいます。

●脳元気教室

音楽や体操を通して脳を刺激し、認知症を予防するための教室です。各地区の交流センター等で開催しています。この他に転倒予防の教室や音楽サロンなどもあります。（各教室の参加費は無料です）



相談先：飯塚市役所 高齢介護課 高齢者支援係 ☎ 0948 (22) 5500

◆地域包括支援センター一覧

【認知症やその他サービス、施設などに関すること】

地域包括支援センター	担当の地域
<p>二瀬地域包括支援センター コスモス苑 電話：0948-21-5511 所在地：伊川 1262-1</p>	<p>相田 相田団地 東伊川 南伊川 伊川 乙丸 上相田 けやき台 新相田 新栄町 新高雄 新二瀬 高雄区 西伊岐須 西新町 東伊岐須 東新町 ガーデンヒルズ 旭ヶ丘 中央区 西横田 東横田 二瀬本町 南横田 西川津 東川津</p>
<p>穂波西地域包括支援センター つばき苑 電話：0948-23-8124 所在地：椿 623-8</p>	<p>秋松西 枝国一区・二区・三区 小正一区・二区・三区 小正浦ノ原 小正高畑 小正水落 久保白 舍利蔵 振興 高田 太郎丸一区・二区 津原 椿 日鉄枝国 弁分 弁分彼岸原 本谷 見田 椋本 安恒 若菜 天道</p>
<p>筑穂地域包括支援センター 電話：0948-72-3155 所在地：長尾 911-1</p>	<p>阿恵 出雲東 うぐいす台 鶯塚 浦田 大野 片山 嘉穂 上揚 北古賀 切畑 楠台 久保山 黒石 桑曲 氷屋 三町 下揚 大分 大分駅西 大分駅前団地 筑穂栄町 筑穂元吉 内住本村 長楽寺団地 長尾 長尾東団地 ニュータウン大分 平塚 馬敷 山口 弥山</p>
<p>地域包括支援センター 太陽の郷 電話：0948-21-2828 所在地：下三緒 690</p>	<p>上三緒第1・第2・第3・第4 柏の森ヒルズ 下三緒 下三緒団地 東ヶ丘 三緒浦 山内 駅通 木の花 五穀神 昭和通 大新 忠隈 中央通 鶴三緒 南通 元宮</p>
<p>幸袋地域包括支援センター いずみ苑 電話：0948-21-1777 所在地：庄司 1941-1</p>	<p>池田 井の浦 大谷町 幸袋新町 幸袋西町 幸袋本町 三軒家 栄町1丁目・2丁目・3丁目 目尾団地 目尾中央 目尾薙野 庄司 津島 白旗団地 第二勝負谷 第二目尾 地産 中一 中三 目尾勝負谷 浜生 日の出町 緑ヶ丘 柳橋 吉北 吉北元町</p>

<p> 額田地域包括支援センター かいた苑 電話：0948-92-4552 所在地：勢田 2593-65 </p>	<p> 石丸 石丸団地 1・2・3 大畑 鹿毛馬上 鹿毛馬中 上勢田東 上勢田西 北勢田 木浦岐 口原 小峠 小峠東 小峠西 桜が丘 ビレッジハウス 下勢田 新立 中央団地 1・2・3 中央東団地 鯉田東区 東佐與 西佐與 東勢田 1・2・3 福門 牧野 明治 1・2 六反畑 </p>
<p> 地域包括支援センター くぬぎ苑 電話：0948-25-0001 所在地：相田 114-1 </p>	<p> 稲荷町 片島勝守町 片島栄町 片島本町 片島若宮町 上本町 下本町 徳前第 1・第 2・ 第 3・ 第 4 中本町 西町西 西町東 東町西 東町東 宮の下 御幸町 向町 吉原町 リバーサイド 川島 久世ヶ浦 立岩 </p>
<p> 鎮西地域包括支援センター 電話：0948-24-0033 所在地：花瀬 160-1 </p>	<p> 潤野上 潤野下 潤野牟田 黒萩 建花寺 県住はなせ 新花瀬 大日寺 花咲台 花瀬 東潤野 明星寺 明星寺団地 新潤野 八木山 蓮台寺 </p>
<p> 庄内地域包括支援センター 多田の里 電話：0948-82-0410 所在地：多田 309-11 </p>	<p> 赤松 あさひ台 有井 有井二区・三区 有安 大門 柿田 ビレッジハウス庄内 工場団地 関の台 多田 立 鳥羽 仁保 光ヶ丘 藤田 庄内元吉 青葉台 赤坂 旭町 入水 大坪 勝島 庄内栄町 新町一區・二區 すだれ石 高倉 筑前製鋼 筒野 持田 本村 安丸 山倉 若草 </p>
<p> 地域包括支援センター ベスト・シルバー飯塚 電話：0948-22-5566 所在地：新飯塚 12-13 </p>	<p> 愛宕団地 市の間 柏の森 旧芳雄 新飯塚西 新飯塚東 鯉田浦田 鯉田蛭子町 鯉田上町 鯉田栗尾 鯉田篠田 鯉田新町 鯉田簀子町 鯉田畝割 鯉田東町 鯉田本町 鯉田南町 鯉田柳町 芳雄 </p>
<p> 穂波東地域包括支援センター 電話：0948-26-6761 所在地：忠隈 522-3 </p>	<p> 秋松 神ノ浦 神ノ浦浦田 大陣 忠隈一區・二區 忠隈泉町 忠隈浦田 忠隈北区 忠営 忠営二區・三區 平恒 平恒新町 平恒中野 平恒原口 平恒本町 堀池 堀池東 松ヶ瀬 南尾 南尾二區 南尾迎坂 楽市 楽市東區 </p>



飯塚市認知症ケアパス「あんしんパスいいつか」

令和5年4月発行

飯塚市役所 高齢介護課 高齢者支援係
〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号
電話：0948-22-5500（内線1140～1143）
FAX：0948-25-6214